

2015年度後期第10回授業録

押野博年

【朝一】

横尾：『マイナンバー導入棒読み』

- ・酒を軽減税率するためにマイナンバーのカード作る？
- ・証明書として使うには顔写真を送らなければならない。
- ・問題となるのは会社とか雇用とか。バイト先でも出せと言われた。
人事課が大変に。大量の番号を役所に提出しなければならず流出の原因となるものである。
- ・確定申告の手間がマイナンバーにより楽になるという大きなメリットはある。

●卒論の話

1月の頭までには決めて、2月合宿までには自分なりにまとめて発表できるように。
獨協医大の継続研究、ロジックとの共同研究などがあるので、医療情報と教育ITには入ってもらいたい。
沖縄の医療観光、インダストリー4.0などもテーマとしては考えられる。

●輪読

渡邊 インダストリー4.0 『第3章』

以下コメント

- ・データサイエンティストは大事な役割になってくる。教育ITにも力を入れていくべき。
- ・簿記とかの作業は将来的にはAIが全て取って代わるものと思われ、このAIの作業を監視するという作業をできる人というものが必要になってくる。
- ・AIに全て委託して作業させるのは怖い。人間が要らなくなる（パソコンを使えない人とか）。
- ・データ処理演習が必修になってしまったらできない世代がとても辛い世の中になりそう。

矢野 インダストリー4.0 『第6章』

- ・インダストリー4.0のフォーラムでよく挙げられるテーマとして、日本はインダストリー4.0でどうするかというものがある。日本は出遅れてしまっているからである。ものづくりをすすめていくという方向に。
- ・重機を作る会社のコマツでは、最初はセンサーをつけ機械の消耗などを見ていたが、どの作業でどの動作が無駄な動きをし機械を消耗するのかということの分析も可能に。

- ・ 中小企業がやってきたものづくりの技術を殺さずに日本のものづくりをIT化するということができるアイデアがすごいと思った。漆器とかの職人にしかわからない手触りや感覚などをセンサーを使ってデジタル化するのが可能であればできそう。
- ・ ものづくりをデジタル化することによる抵抗がある人がいると思う。技術は残したいけど後継者が居ない人などがいたら技術をデジタル化されたものとして残すことができるというメリットができる。
- ・ 野菜の糖度計測などは人間がやるよりもデジタル化することによって正確にできるはず。
- ・ IT教育のさらなる強化が必要になるし、やるならばしっかりした内容にしなければならないと思う。
- ・ 自動翻訳に力を入れることによりITの知識の習得に集中できるためいいと思った。Skype transraterとかスペイン語自動翻訳アプリとかが現在存在している。ビジネスに役立ってくると考えられる。

●次回の朝一

押野（今週できなかったため）、矢野、高木

卒論のテーマを考える、輪読